

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		危機管理課	事業No.	238
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		常備消防事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			第12次消防力（消防団）整備計画
	法令・例規等			飯田市消防委員会条例
事業目的	対象	市民、行路旅人を含めた市内滞在者		
	意図	安全安心に寄与する		

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・常備消防の体制を維持する一環として、県消防防災航空隊の運営費の一部（消防吏員の人件費として）を負担しました。 ・消防委員会において、飯田市第12次消防力整備計画の策定報告に合わせ、内容報告と消防団の主な施策について話し合いを行いました。		県消防防災航空隊派遣消防吏員人件費 消防委員報酬 その他の経費				2,692 47 9				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	消防委員会の開催	回	1	1							
3年度決算(千円)	予算額	2,785	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,748									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源	2,748									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	1	10	1	2,785	2,748	常備消防一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		県の防災ヘリコプターは、新たに機体が導入（令和2年12月）され、令和3年から条件付きではあるが、運行が再開されました。県下消防本部から派遣されている8名の隊員は、様々な分野において、調査及び訓練に取り組み、新機体導入後は飛行訓練を主に、実践的な訓練へと展開してきています。今後、空路での救急搬送、林野・山林火災等における散水、山岳での救助活動等に対し、その有効性に大きな期待が寄せられています。							
上記の課題解決のための有効策		山岳救助から始まり、救急搬送、林野・山林火災対応等は、生命と財産を守る上で非常に重要な役割を果たしています。							
次年度に向けての取り組み		次年度も引続き、長野県消防防災航空隊運営経費の一部（県下消防本部から派遣された隊員の人件費）を負担していきます。							